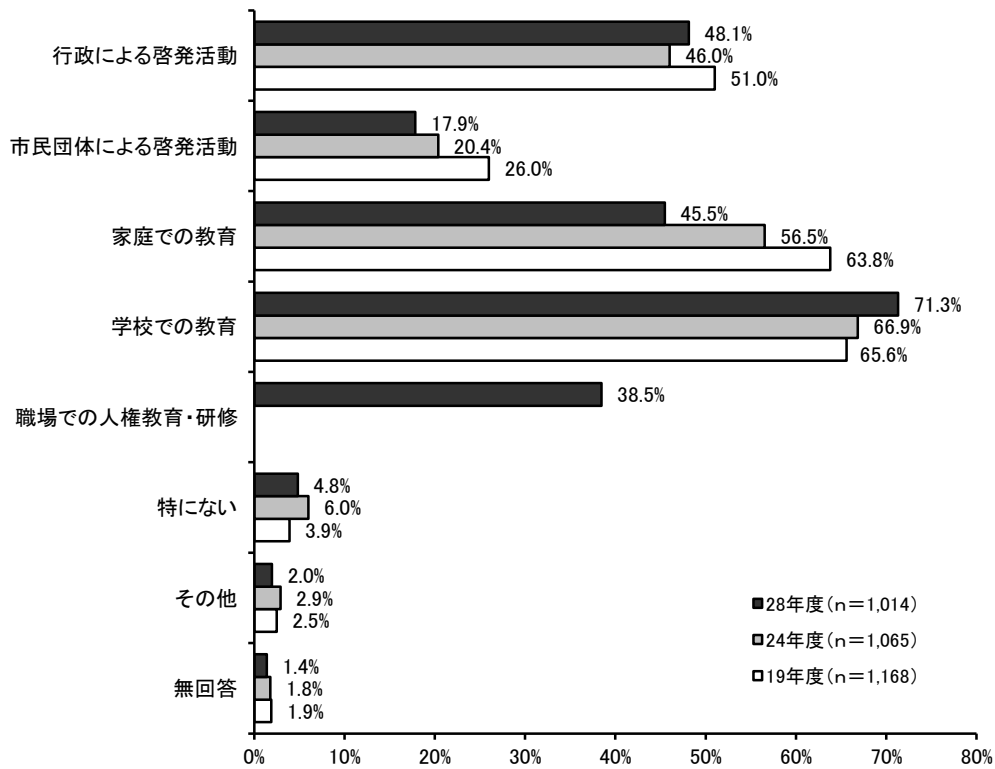


3-20 人権教育・人権啓発の方法について

(1) 人権意識を高める方法

問44 人権意識を高める方法としては、どのようなものが有効と考えられますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



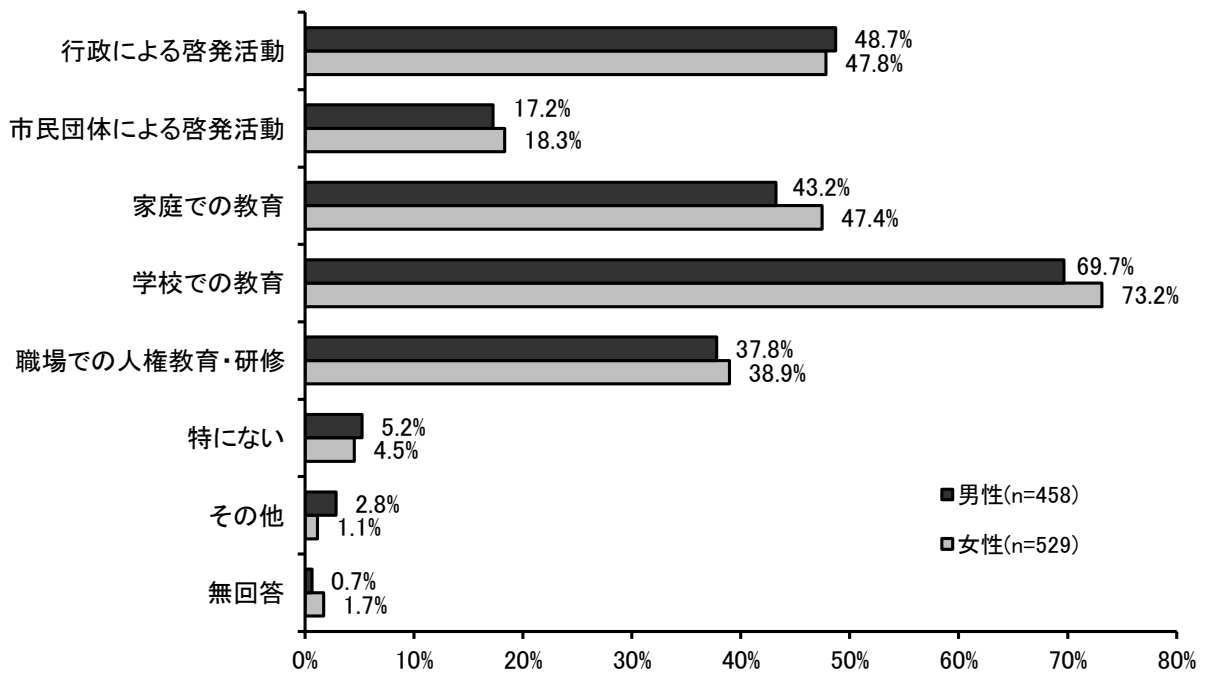
■「学校での教育」が71.3%で最も高く、次いで「行政による啓発活動」が48.1%、「家庭での教育」が45.5%、の順となっている。

【前回・前々回比較】

■「家庭での教育」は前回の56.5%より11.0ポイント、前々回の63.8%より18.3ポイント減少しており、「学校での教育」は前回の66.9%と比べてより4.4ポイント、前々回の65.6%より5.7ポイント増加している。

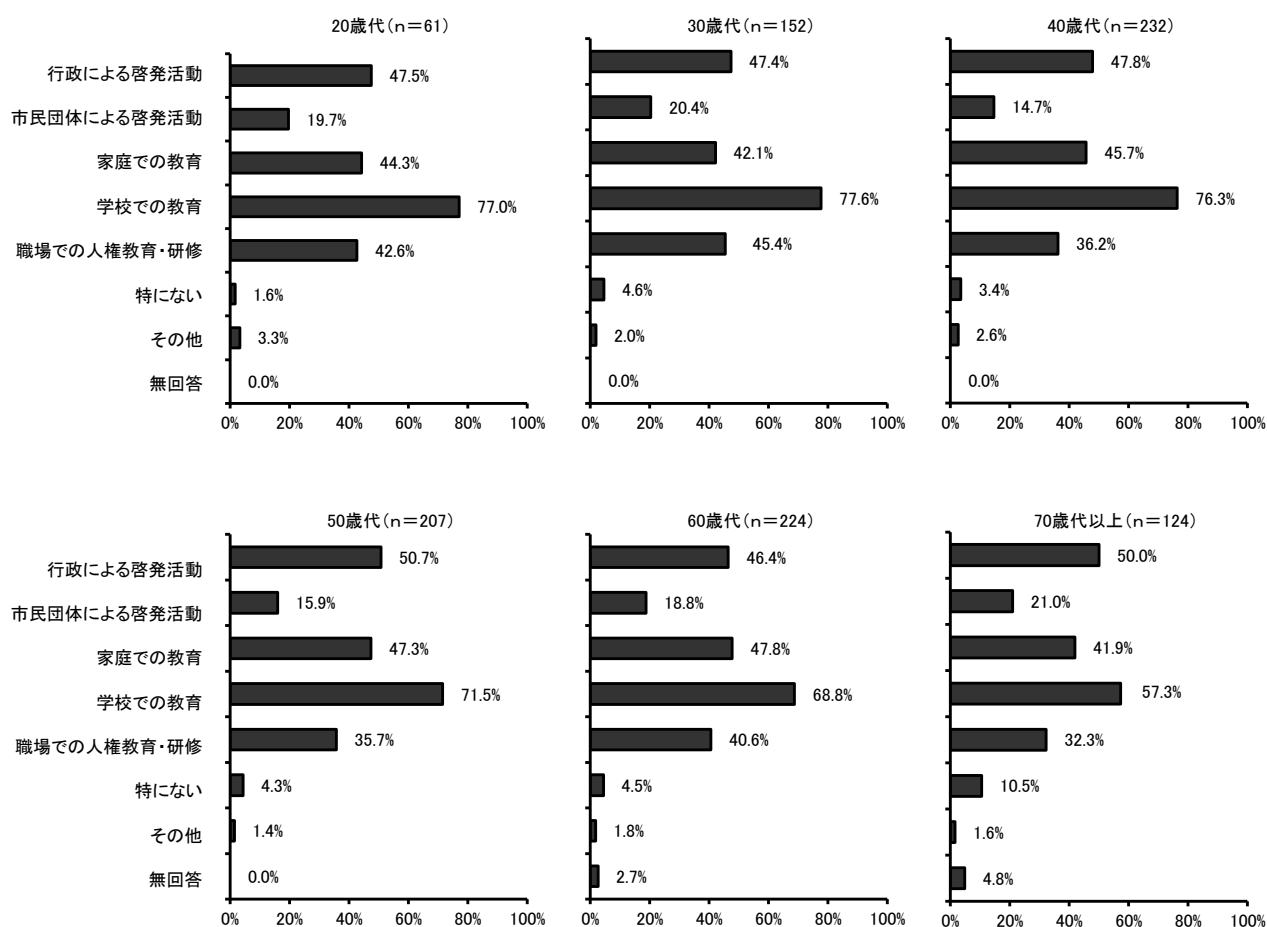
※「職場での人権教育・研修」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「家庭での教育」「学校での教育」の割合が女性でやや高い。

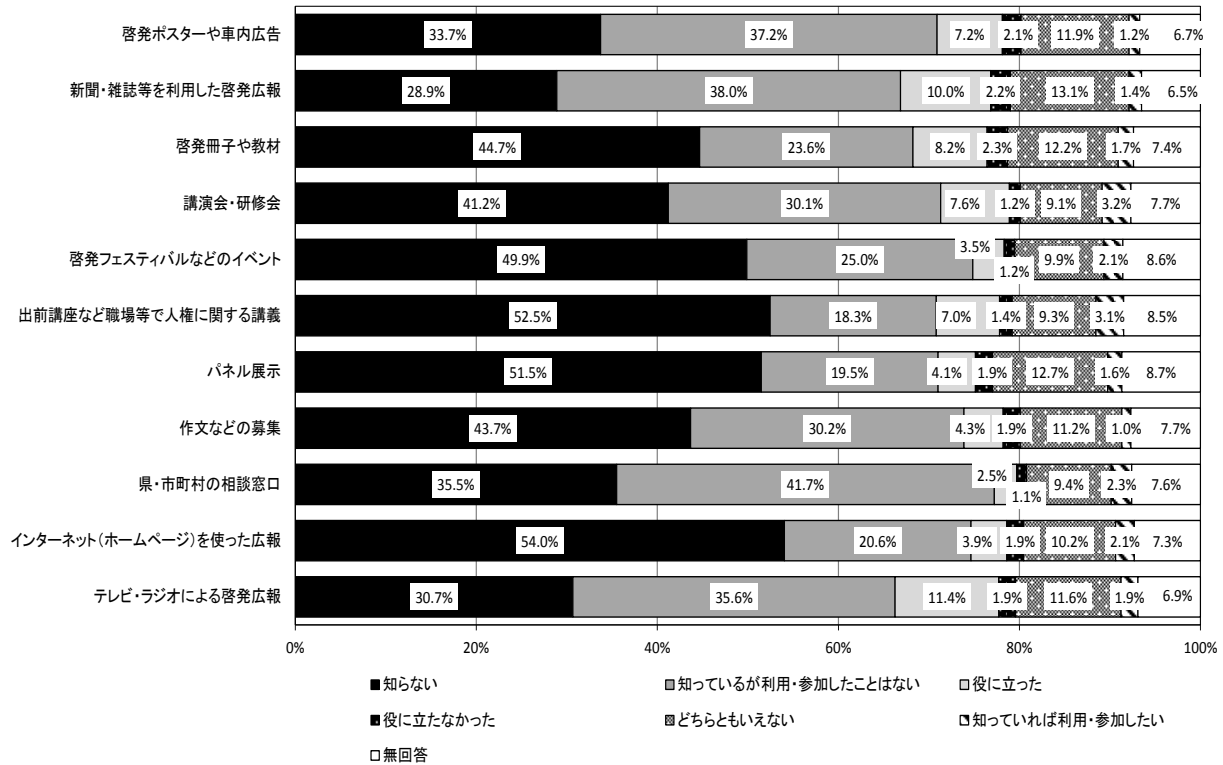
年代別



- いずれの年代においても「学校での教育」が最も高く、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。「行政による啓発活動」は50歳代と70歳代以上で5割となっている。
- 「特にない」の割合は、70歳代以上がいずれの年代より高くなっている。

(2) 人権問題の解決に向けた施策の認知および利用・参加後に役立ったか

問45 人権問題の解決に向けた次のような施策を知っていますか。見て、あるいは利用・参加して役に立ちましたか。それぞれについていずれかに○をつけてください。



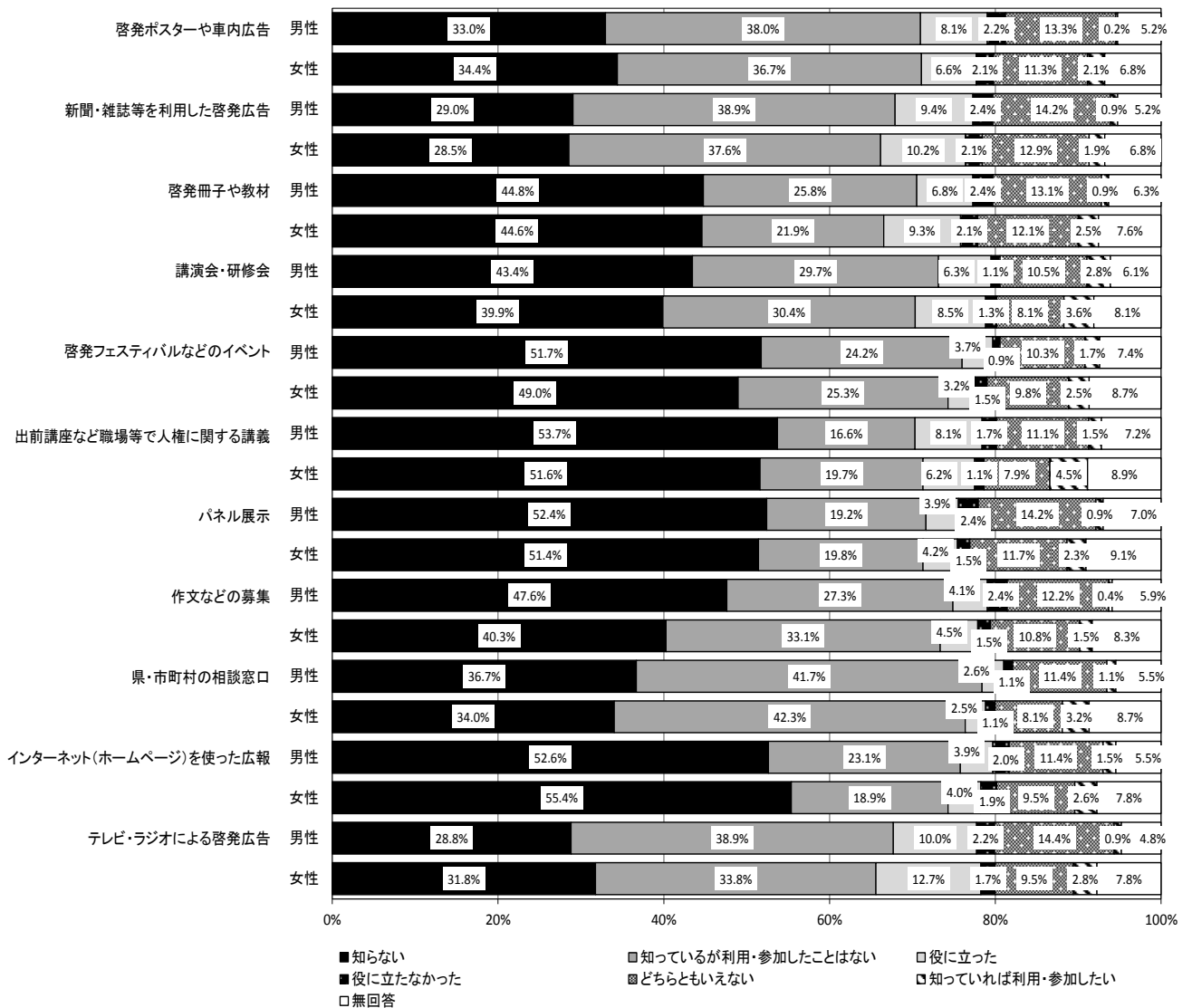
■ 「知らない」は、「インターネット（ホームページ）を使った広報」が54.0%と最も高く、次いで「出前講座など職場等で人権に関する講義」が52.5%、「パネル展示」が51.5%と、それぞれ5割を超えている。

■ 「知っているが利用・参加したことはない」は「県・市町村の相談窓口」の41.7%、「役に立った」は「テレビ・ラジオによる啓発広報」の11.4%がそれぞれ最も高くなっている。

【前回・前々回比較】

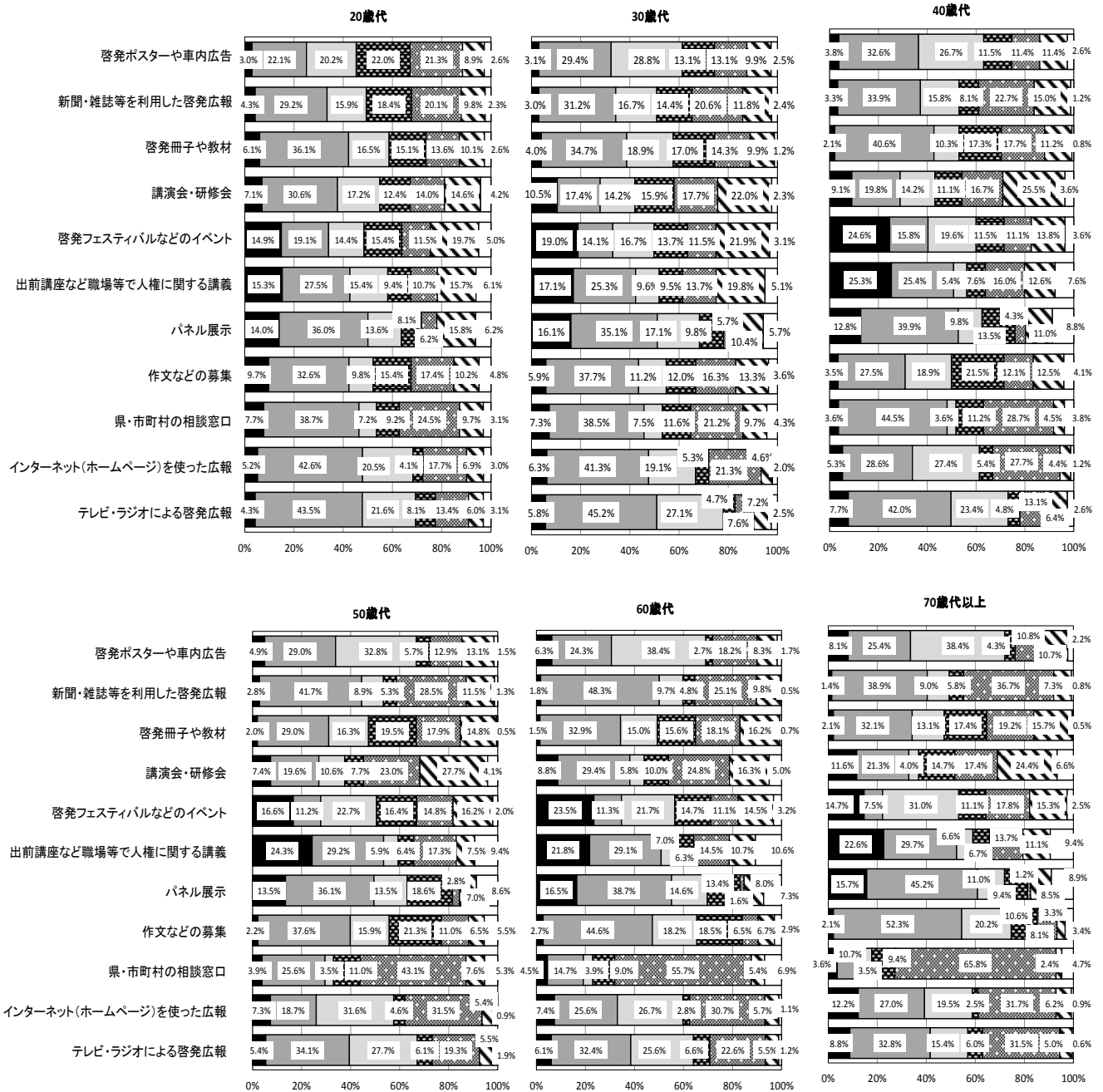
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



- 男女間で大きな違いはみられないが、「知らない」の「出前講座など職場等で人権に関する講義」「パネル展示」「インターネット(ホームページ)を使った広報」では男女共に5割を超えている。
- 「啓発フェスティバルなどのイベント」も男性は5割を超え、女性も約5割となっている。
- 「知っているが利用・参加したことはない」の「作文などの募集」は男性より女性が5.8ポイント高くなっている。
- 「知っていれば利用・参加したい」の「出前講座など職場等で人権に関する講義」は女性の割合がやや高くなっている。

年代別

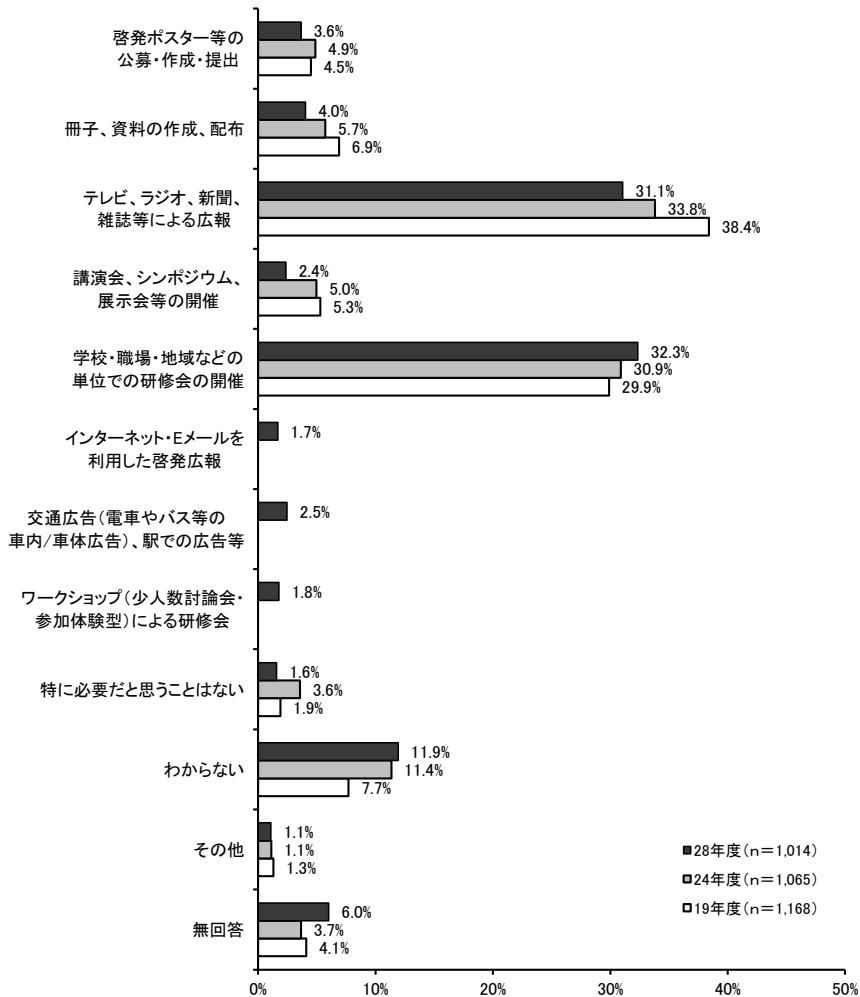


■ 知らない ■ 知っているが利用・参加したことはない □ 役に立った ■ 役に立たなかった ■ どちらともいえない ■ 知っていれば利用・参加したい □ 無回答

- 「知っているが利用・参加したことはない」は、「テレビ・ラジオによる啓発広報」の割合が若い年代で高く、「作文などの募集」は70歳代以上で5割を超えている。
- 「役に立った」は、「啓発ポスターや車内広告」の割合が50～70歳代以上で高い。60～70歳代以上は約4割となっており、20歳代は「役に立たなかった」がいずれの年代より高くなっている。
- 「知っていれば利用・参加したい」は、「講演会・研修会」が50歳代で27.7%、「啓発フェスティバルなどのイベント」が40歳代で25.5%といずれの年代と比べて、それぞれ高くなっている。

(3) 人権侵害の認識を深めるための人権教育・人権啓発の方法

問46 人権侵害に関する県民の皆さんの認識を深めるための人権教育・人権啓発の方法について、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から1つだけ選んで○をつけてください。



■ 「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が32.3%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が31.1%、「わからない」が11.9%の順となっている。

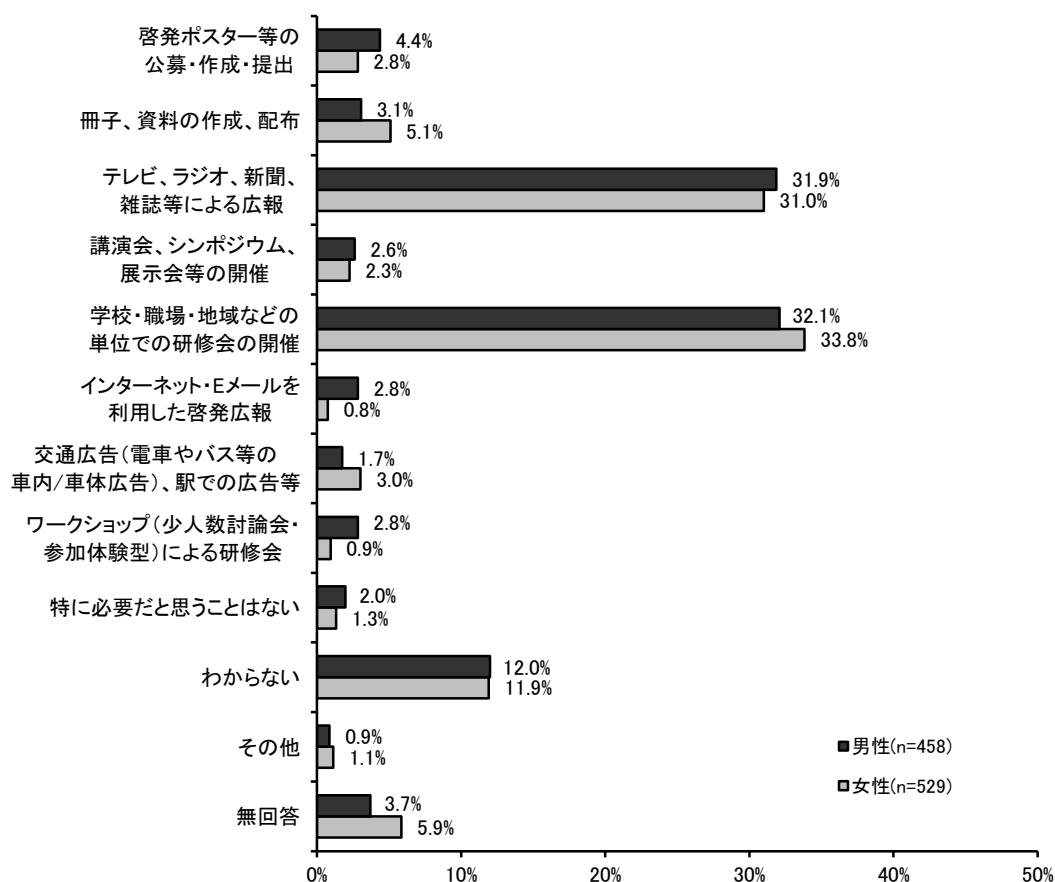
【前回・前々回比較】

■ 「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」は前回より2.7ポイント、前々回より7.3ポイント減少している。

■ 「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」は前々回より2.4ポイント、「わからない」は4.2ポイント増加している。

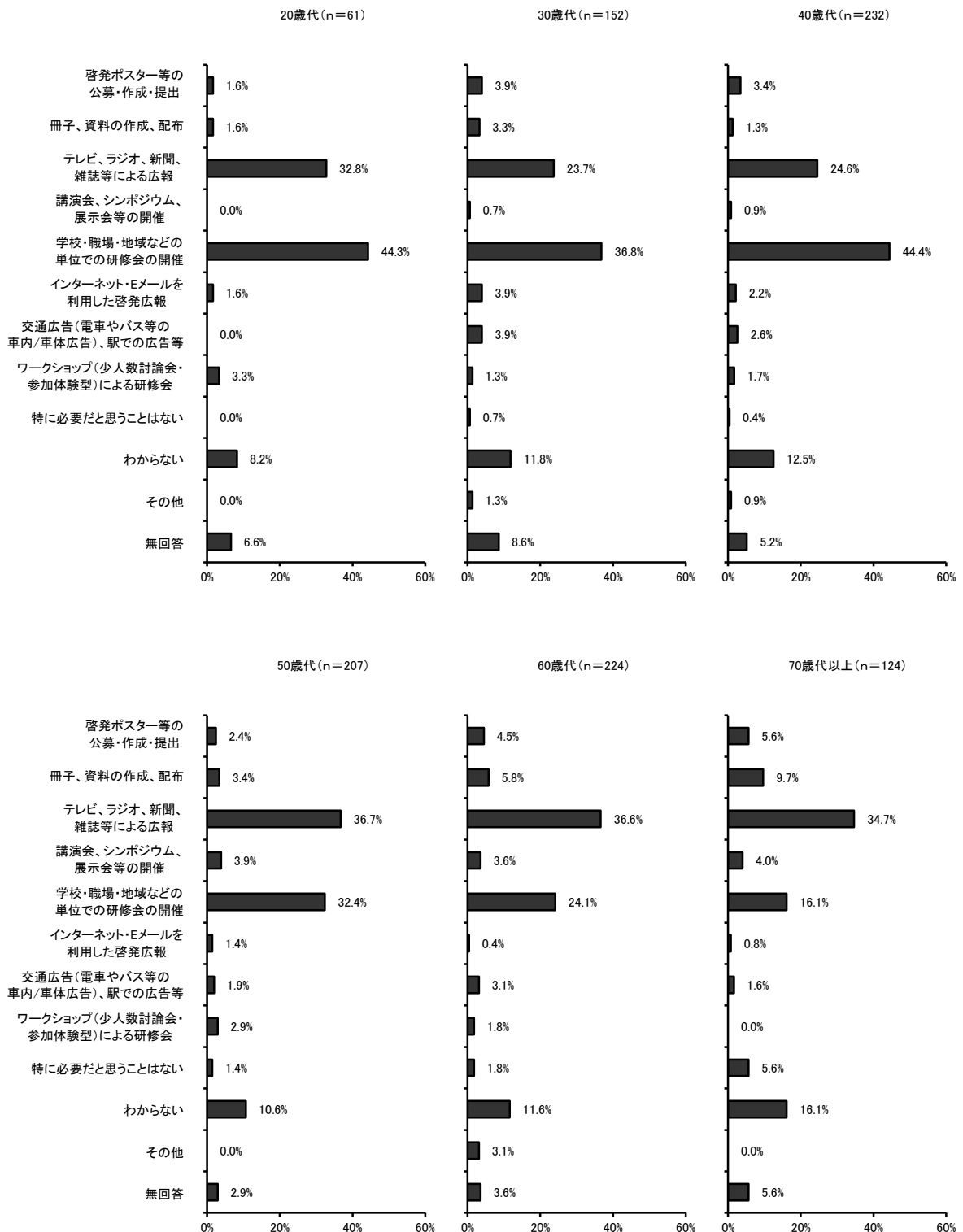
※ 「インターネット・Eメールを利用した啓発広報」「交通広告(電車やバス等の車内/車体広告)、駅での広告等」「ワークショップ(少人数討論会・参加体験型)による研修会」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 男女共に「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が最も高くなっており、女性が男性よりやや高くなっている。
- 「冊子、資料の作成配布」は男性より女性が 2.0 ポイント、「インターネット・Eメールを利用した啓発広告」は女性より男性が 2.0 ポイント、「ワークショップ(少人数討論会・参加体験型)による研修」は 1.9 ポイントやや高くなっている。

年代別



■ 「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」の割合は、年代が上がるにつれて、「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」は若い年代ほど高くなる傾向がみられる。